

# 関西 踊るアホ化計画

## 阿波踊り 催し次々

### 100万人集まる関東と落差

関西でも踊らにやせんせん——。関東に比べ低調な阿波踊りをもっと盛り上げようと、在阪の徳島出身者が立ち上がっている。



神戸元町商店街連合会と関西阿波おどり協会が主催した「阿波おどりの流し演舞」。大阪や兵庫の12連の約250人が踊った。5月18日、神戸市中央区元町通、徳島県大阪本部提供

#### 全国の主な阿波踊り



阿波踊りは徳島だけのものではない。全国約70カ所で催されているといわれ、うち約50カ所が東日本に集中する。本場(毎年12〜15日)と並ぶ「日本三大阿波踊り」の一つ東京・高円寺の祭りには毎年100万人、



#### 手軽 街興しに最適

阿波踊り情報誌「あわだま」(徳島市)編集長の南和秀さん(46)の話 関西では、阿波踊りは徳島で見るといわれるが、関西ではたまたま、という意識が強かった。関西では商店街振興でまず採り入れられ、人氣が広がった。みこ

もう一つの埼玉・南越谷には60万人が訪れるという。「でも、関西は気軽に本場に行けるせい、大きなイベントがない」(池内秀剛・徳島県大阪本部係長41)。そこで県が音頭を取り、「関西阿波おどり協

しに比べ安い鳴り物や衣装、耳に心地よいおはやしにエンドレスで伸縮自在の音楽。何より「手を上げて足を運べば阿波踊り」の手軽さが、街興しのイベントにぴったりだった。ところが、一度始めた人が徳島で本物を見てその奥深さにはまり、ファンとして定着したようだ。

会」を昨秋立ち上げた。

関西の連(踊り子の団体)は約30、踊り子1千人以上とされるが、ばらばらに老人ホームや地元の祭りなどで活動してきた。このうち京阪神と奈良の22連が「協会」で一つになり、大阪府豊中市(2012年10月)、神戸市(13年5月)、大阪市など7カ所(7月〜14年5月)と次々にイベントを打っている。県人も衣装代や交通費を支援する。

8月25日には、「日本一長い」天神橋筋商店街(大阪市北区)で、「協会」所属の踊り子約300人がアークードから大阪天満宮の境内までを練り歩く。商店街連合会の土居年樹会長(76)は「阿波踊りは見て

いる人を巻き込む力がある。商店街の活性化と、徳島の観光PRの一举両得の企画です」と力を込めた。踊り子の育成も活発だ。「大阪天水連」が教える県主催の教室は11年に始まり、今年の教室(5〜7月、5回)は毎回40人を超える盛況ぶり。徳島出身の同級生3人と参加した関西学院大1年上田菜穂子さん(19)は、「小中学校の運動会で踊ったくらいで、徳島で連に入ったことはなかった。大学生になったら踊りたいと思っていた」。

関西の落語家らでつくる「はなしか連」も、4月から大阪・中崎町(北区)で教室を開く。連長は徳島出身の笑福亭学光さん(59)。連は00年からほぼ毎年、大阪府吹田市の「Diso北千里夏祭り」で踊ってきた。7月27日にあった中崎町の夏祭り「済美カーニバル」には他の関西4連と参加。地元の吉川郁夫さん(67)は「踊りでさらに人のつながりが深まれば」と期待する。(花房喜子)